

防災士52人が誕生！



防災士を中心に 語らいの場の創出を

岩手大名譽教授
齋藤徳美氏

講習会では、災害研究の権威である岩手大名譽教授の齋藤徳美氏も講師として教鞭を執りました。齋藤氏は修了式のあいさつの中で「一つの自主防災組織に一防災士。自分の周りに、どんな危険が潜んでいるかを学んでほしい。その場所によって、どんな災害が起こるか、地域の皆さんが理解して、気を付ける必要があります」とし、地域に合わせた防災対策の重要

性を説きました。そのうえで、「地域の皆さんで現場を見て、普段から語り合う。防災士には、そういった取り組みをしてほしい。地道な取り組みを続けていくことが、防災士の大きな役割。それがあって初めて、町の危機管理の各種施策が、実際に役に立つことになる」と指摘。防災士を中心に、地域が一体となった防災活動の展開へ期待を寄せました。

町が8月に行った防災士養成研修講座で、受講した52人全員が防災士の資格取得試験に合格しました。町内で多くの防災士が誕生したことで、町の防災への取り組み強化が期待されます。12月14日には講座の修了式が行われ、防災士らが、今後の活動に向け、決意を新たにしました。

防災士を代表し、藤井照夫さんが「無事、全員が資格を取得できました。今後は、自主防災組織のリーダーとして、消防団などと連携して各種防災活動に参加し、地域の防災力向上のため努力します」と力強く述べました。同研修講座は、東北福祉大への委託事業で、8月24、25日に行われました。

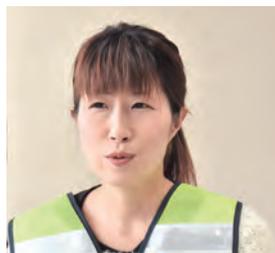


防災士を代表してあいさつする藤井照夫さん

決意

防災士となった町民の声を紹介

「避難所指定の公民館が川の近くにあり、災害に合わせて避難の仕方を考えなければと思いました。毎年、全国で大災害があり、決して他人事ではありません」と話し、地域防災への意識を高めていました。



資格取得で 防災意識高まる

勝山彩さん(35)
東徳田1区

地域の保健推進員を務める勝山さんは「河川近くや河川跡など、災害が起こりやすい場所を気にするようになりました」と、資格取得による自身の変化を語りました。



多世代が集まり 防災考える場を

三上溪太さん(27)
流通センター

盛岡市出身の三上さんは、矢巾町に住み始めて間もなく2年。町消防団第8部に所属するなど、地域活動に積極的に参加しています。

「自分が住んでいる場所で起こりやすい災害について、知識を深めていきたい。また、大人だけではなく、子どもと一緒に、地域の防災について考えていくことが大切だと思う。防災士の自分が、地域でそういった場を作っていきたい」と意気込みました。

ごみゼロを目指そう！ 減量、リサイクルの取り組みを開始

役場を拠点に 資源回収を促進！

3月2日から、役場などに古着や古布、割りばしの回収拠点を設け、ごみの減量化・リサイクル促進の取り組みを開始します。開始に向けて町は昨年12月、町内外の法人、事業所と覚書を交わしました。

回収資源のうち、古布は社会福祉法人新生会(阿部肇男理事長) 矢巾町 へ、古着は障がい者の就労支援を行う社会福祉法人盛岡市民福祉バンク(佐藤晴久理事長) 盛岡市 へ、割りばしは製紙業の北上ハイテクペーパー(楠田康之社長) へ提供します。2つの社会福祉法人への提供は障がい者支援として、無償で行います。回収された古着・古布は再び衣類となる他、雑巾などに加工。割りばしは紙の原料となり、ティッシュなどの製品になります。回収場所と日時は下表のとおりです。町内のごみをできるだけ減らすため、皆様のご協力をよろしくお願いします。

古着・古布・割りばしの受付場所・日時

場所	日時
役場庁舎 南側玄関	平日 午前8時30分～午後5時15分
さわやかハウス 1階ホール	
町公民館 1階ホール	火～日曜日 午前9時～午後9時30分 なお、月曜が祝日の場合は受け付けます。その場合、翌日の火曜日の回収はお休みします。

※3カ所全てに、古着・古布・割りばしの各専用ボックスを設置します。

※古着・古布は洗濯をしてから、お持ちください。

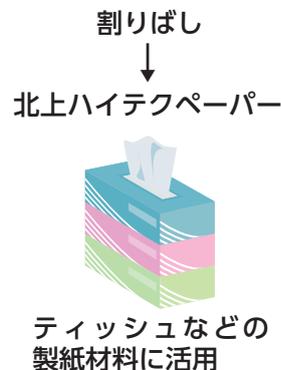
※古布はタオルやシャツ、着物などを含みます。

※割りばしは未使用、使用済みのどちらも回収します。



回収ボックスに投入

回収から
再利用まで



協定を締結した青南商事の
安東社長と高橋町長(左から)

**リサイクルで
買い物券ゲット!**

町では資源の有効活用に向け、リサイクル業の青南商事(安東元吉社長) へ本社弘前市 へと資源回収施設の設置に関する協定を結びました。回収の開始は6月ごろを予定しています。

24時間無人回収施設(リサイクルモア)を役場駐車場内に設置予定。回収品は空き缶やペットボトル、金属製品、パソコンなどで、重さに応じてポイントが得られます。貯まったポイントはクオカードに交換できます。

※事業の詳細は、広報やはば5月号でお知らせします。